

学校教育目標	校訓「みずから学び、みずから鍛え、みんなと生きる」を体現する生徒の育成				
重点努力事項	(1)質の高い授業を実践することによって基礎・基本の徹底と思考力・判断力・表現力の育成をバランスよく図り、自ら課題意識を持って友と高め合うことのできる生徒を育成する。 (2)あらゆる教育活動を通じて辛抱・我慢する心、困難に打ち勝つことのできる精神力、自己コントロールできる力を鍛え、強くたくましい心と体を育成する。 (3)人のために自分には何が出来るかを考え行動することが、最終的に自己理解や自分を大切にすることにつながることを実感させ、将来の進路選択への展望を持たせる。				
分掌重点目標	他者を思いやる力・他者とうまくやっていく力を育てる 困難に立ち向かい、打ち克つ心を育てる				
柱となる活動	活動へ向けての努力事項 Do	到達目標	評価基準 Check	成果と課題 Do & Check	来年度への提言 Action
みずから学ぶ活動	◎生徒会活動・正副室長会・委員会活動・応援団・縦割り活動を利用したリーダー育成 ・より良い学校環境にするための課題を見つける力を育てる。	・学校・学級が活性化 する。 ・目標に対する課題 設定を行うことができる。	(生)私は、生徒会・委員会活動・縦割り活動によって学校が活性化したと感じている。(80%) (教)応援団活動は充実している。(85%) (教)生徒会活動、専門委員会活動は充実している。(80%) (生)私は、委員会や係の仕事などががんばる友達の手伝いなどをして支えている(80%)		
	◎リーダーを支えるフォロアーの育成 ・他者と協調し、思いやる気持ちを育てる。	・リーダーを支える フォロアーがクラスに 半分以上いる。	(生)私は、委員会や係の仕事などががんばる友達の手伝いなどをして支えている(80%)		
みずから鍛える活動	◎仲間作り活動、運動会種目、学級活動(クラスミーティング等)を利用した協調性や問題解決能力の育成 ・目標に向けあきらめず努力する気持ちを育てる。 ・失敗を恐れない姿勢を育てる。	・各場面において、問題 を自分のこととして とらえる姿勢を持つ ことができる。	(教)学級集団活動(学活、学級学年学校行事)で生徒は生き生きと活動している。(80%)		
	○生徒会・委員会(応援団)活動推進係 ○リーダー正副室長育成係 ○学級活動活性化係 ○縦割り活動推進係				
みずから鍛える活動	◎JRC活動でのボランティア精神の育成 ・校内、校外ボランティアを活用し他者や社会の役に立つ喜びを感じさせる。	・ボランティア活動に 自主的に参加できる。	(生)私は、地域行事や校内ボランティアに参加している。(70%) (教)JRC活動は充実している。(75%)		
	◎部活動の徹底 ・理想的な先輩・後輩関係をつくりあげ、健全な心身をめざす。	・先輩・後輩関係が しっかりしている。 ・部活動開始時間を 終学活10分以内に行 うことができる。	(生)私は、勉強や部活のしんどい場面でも、友達と協力しながら諦めずに頑張っている。(80%) (教)部活動を通して、生徒の心技体を鍛えようと努めた。(85%)		
みんなと生きる活動	◎縦割り活動を利用したつながりの育成 ・異学年との交流の中で、活躍の場をつくり、自己肯定感を高める。	・活動の場において、 異学年との交流を積 極的に行うことができ る。	(生)私は、生徒会・委員会活動・縦割り活動によって学校が活性化したと感じている。(80%) (教)縦割り活動は仲間づくりに有効である。(80%)		
	○縦割り活動推進係 ○JRC活動推進係 ○部活動・部長会・中体連調整係				
みんなと生きる活動	◎Q-Uによる検証と実践 ・結果をしっかりと検証し、確実に学年・学級経営につなげていく。	・全教職員がQ-U結 果を共通認識できる。	(教)Q-Uの研究方は適切であった。(75%) (教)Q-Uを活用した学級経営に努めている。(75%)		
	◎学校生活の様々な場面における縦割りの活用 ・行事以外の日常生活の中で意識的に協働出来る場面の設定。	・活動の場において、 異学年との交流を積 極的に行うことができ る。	(生)私は、生徒会・委員会活動・縦割り活動によって学校が活性化したと感じている。(80%)		
みんなと生きる活動	◎日々のソーシャルスキルトレーニング ・自然な顔きができる ・折り合いをつける話し合いができる。	・その場に適したあい さつや反応をすること ができる。	(生)私は、地域の人に会ったらいさつをしている。(80%)		
	○縦割り活動推進係 ○学級活動活性化係 ○Q-Uによる検証係				